

2019年度 新潟県クラブユースサッカー(U-14)新人大会
兼 2020年度 新潟県クラブユースサッカー選手権(U-15)大会 予選会
大会実施要項

1. 主催 一般社団法人 新潟県サッカー協会
2. 主管 一般社団法人 新潟県サッカー協会 第三種委員会 新潟県クラブユースサッカー連盟
3. 期日 2019年8月17日(土)から2019年9月16日(月)

会場及び日程	予選リーグ				順位決定戦	
	8/17	8/18	8/24	8/25	9/16	9/17
会場/日程						
アルビレージュE	○	○	○	○	○	○
アルビレージュF	○	○	△	○	○	○
グランセナA	○	○	○			
潟東サルビア	○	○	○	○		
長岡ニュータウンA	○	○	○			
長岡ニュータウンB		○	△18:00~			
刈羽ぴあパークA	○	○	○	○	○	○
刈羽ぴあパークB	○	○	○	○	○	○
津南A					○	○
津南B					○	○
大原運動公園	○					
新発田中央公園					○	○

5. 参加資格

- (1) (公財)日本サッカー協会に第三種登録をし、かつ(一財)日本クラブユースサッカー連盟に加盟登録または準備加盟登録をしていることとし、選手11名以上で構成したチームであること。このとき、中学年代の選手を5名以上有すること。また、準備加盟登録チームについては、2020年度に本加盟登録が見込めるチームであること。
- (2) 参加しようとする選手は、選手証チェックを行うので KickOff から印刷した背番号ソートの A4 版選手証を持参のこと。選手証がない、選手証に写真がないなどの不備がある場合は当該選手の出場を認めない場合がある。但し、電子選手証(写真の登録されたもの)で確認できる場合は出場を認める。
- (3) 参加しようとする選手は、他のクラブチーム及び中学校サッカー部等に二重に登録をされていない
- (4) 移籍した選手については、2019年7月22日(月)までに移籍手続きが完了していること。
- (5) 出場チームの同一下部組織第四種(公財)日本サッカー協会のクラブ申請・回答済みクラブ)登録選手に限り種別変更(移籍)すること無く本大会への登録を認める。また、女子選手については、第五種登録のまま移籍することなく新潟県クラブユースサッカー連盟主催の大会に限り一つのクラブチームから1年間登録することが出来る。
- (6) 登録選手はスポーツ傷害保険等に加入していること。
- (7) 大会前の選手等の移籍については、大会実施委員長に報告し大会実施委員長の判断をもって裁定する。大会期間中の移籍については、参加チーム間での移籍は認めない。
- (8) 帯同審判員(4級以上、高校生以上)2名を確保出来るチームとする(写真付き審判証は常に所持していること)。

6. 参加申込

- (1) 指定のファイル(エントリー表)に登録選手30名以内、登録役員(監督を含む)7名以内と必要事項を入力し本年7月31日(水)までにE-Mailで送信すること。
- (2) 参加申込み後、選手等の追加及び変更については以下の通りとする。
 - ① 本大会に出場するチームが最初の試合を行う前日までに登録を変更したエントリー表を大会実施委員長にE-Mailにて送信すること。このとき、追加及び変更した箇所を黄色で分かるようにマークを入れること。試合当日に選手証または電子登録証の提示無き場合はそれを認めない。
 - ② 試合当日に当該本部へ変更済みのエントリー表を1部提出すること。
 - ③ 追加及び変更をした選手については(公財)日本サッカー協会発行の選手証を提示できるようにしていること。
 - ④ 選手の背番号のみの変更は認めない。
 - ⑤ 追加及び変更の選手については、プログラムの変更は出来ない。
 - ⑥ エントリー表の送信先 古俣健次<niiigata.cy@1995freedom.com>
渡邊芳広<watanabe@usp.name>
伊藤満夫<shibata.sc.ito@gmail.com>
 - ⑦ 変更をする場合、エントリー表の送信先 古俣健次<niiigata.cy@1995freedom.com>
伊藤満夫<shibata.sc.ito@gmail.com>
 - ⑧ 緊急、不測の事態によるエントリー変更は、事前に大会実施委員会へ報告し、実施委員長の承諾を得るものとする。原則変更に伴い同じ背番号は使用できないものとする。

7. 参加費
- (1) 1チーム ￥35,000円
 - (2) 振込先 北越銀行 本店 普通 2174073
新潟県クラブユースサッカー連盟 代表理事 古俣 健次
 - (3) 振込期日 2019年7月31日(水)
8. 抽選
- (1) 抽選日 2019年7月20日(土) 15:00より
 - (2) 会場 潟東ゆう学館 新潟市西蒲区三方10
 - (3) 抽選方法 ①シードされたチームによる抽選
②シードされていないチームによる抽選
③抽選方法については大会実施委員会に一任すること。
 - (4) その他 抽選会には必ず各チーム1名出席してください。出席が困難な場合は委任状の提出をお願いします。
9. 表彰
- (1) 優勝、準優勝、第3位のチームには表彰状を授与する。
 - (2) 北信越クラブユースサッカー(U-14)新人大会への出場について
 - ① 優勝、準優勝のチームには、北信越クラブユースサッカー(U-14)新人大会チャンピオンシップへの出場権を与える。
 - ② 第3、4、5、6、7、8位のチームには北信越クラブユースサッカー(U-14)新人フェスティバルへの出場権を与える。
 - ③ 準備加盟クラブは、北信越クラブユースサッカー(U-14)新人大会への出場が認められていない為、第1位～第8位に入賞した場合は、そのチームを除いて順位を繰り上げる。
 - (3) ① 2020年度高円宮杯北信越ユース(U-15)サッカーリーグに参戦するチームを除く、上位チームには2020年度新潟県クラブユースサッカー選手権(U-15)大会のシード権を与える。
② 2020年度高円宮杯北信越ユース(U-15)サッカーリーグに参戦するチームは、2020年度北信越クラブユースサッカー選手権(U-15)大会のシードチームとなる。
10. 宿泊
- (1) 予選リーグ2位・3位グループ順位戦の参加チームは、ニューグリーンピア津南への宿泊を原則とします。なお、宿泊定員を上回る場合は、協力宿泊施設となることを予めご了承ください。
 - (2) 宿泊に関するお問合せは下記までお願いします。
魚沼スポーツプランニング 渡邊 芳広(FC Artista U-15)
連絡先 090-2845-7543 E-Mail watanabe@usp.name
11. その他
- (1) 本大会において、本要項に記載の無い事象については、参加する皆様の良識ある判断を仰ぐこととします。
 - (2) 雷発生時の対応について、2015年に北信越サッカー協会より指針が示されたので、以下の通りとす
 - ① 雷が発生した場合、速やかに試合を中断する。
 - ② 試合中断後、約1時間を目処に試合の再開か中止を決定する。
 - ③ 試合再開の場合は、中断した時間から再開とするが、日程等を考慮し次の試合を優先させる等の措置もあり得る。
 - ④ 試合再開が困難と判断した場合は、さらに以下の対応とする。
 - イ. 試合中断が前半であった場合は、日程を調整した上で中断した時間からの再開とする。
 - ロ. 試合中断がハーフタイム以降であった場合は、その試合を成立させる。

2019年度 新潟県クラブユースサッカー(U-14)新人大会
兼 2020年度 新潟県クラブユースサッカー選手権(U-15)大会 予選会
大会規定

1. 競技規則 2018/2019年(公財)日本サッカー協会『サッカー競技規則』による
2. 競技方法
 - (1) シードは2018年度新潟県クラブユースサッカー(U-13)大会の結果を基に大会実施委員長が決定する。
 - (2) 予選リーグ 8月17日(土)・18日(日)・24日(土)
 - ① シードを除く、参加希望チームをa～hの8グループに分けリーグ戦を行う。
 - ② ①の各グループにAシードチームを1チームを入れる。第2シードグループを会場地域を考慮しグループ分けを行い、抽選を行う。それ以外のチームを会場地域を考慮しグループ分けを行い、抽選
 - ③ ①の上位1チームを決勝トーナメントへ、それ以外は2位トーナメント、3位トーナメント、4位順位戦と振り分ける。
 - (3) 順位決定トーナメント・順位決定戦 9月15日(日)・16日(月、祝)
 - ① シード8チームと(2)①の各グループ1位8チームにて決勝トーナメントを行う。1位8チームにて2位トーナメント、3位8チームにて3位トーナメントを行う。
 - ② (2)①の4位のチームにて4位リーグ及びトーナメント戦を行う。
 - ③ (3)①②の結果に基づき順位を決定する。
 - (4) 予選リーグ、順位リーグは勝ち点制とし、勝ち点は以下の通りとする。
 - ① 勝ち=3点、引分け=1点、負け=0点
 - ② 勝ち点が同一の場合、(i)得失点差(ii)総得点(iii)対戦成績(iv)抽選の順で順位を決定する。
 - (5) 試合時間
 - ① 全試合50分(25分-5分-25分)で行う。
 - ② 試合時間内に勝敗が決定しない場合は、リーグ戦は引き分けとする。トーナメント戦はPK合戦を行い勝敗を決定する。
3. 試合前・試合中のウォーミングアップ
 - (1) 試合前のウォーミングアップは各会場の指定された場所及び方法で行う。
 - (2) ピッチ内アップ
 - ① 試合開始前のピッチ内アップが可能な場合はボールを使って行う。
 - ② ハーフタイムのピッチ内アップは、原則として次に試合のチームが行うことができる。
 - ③ 試合中のアップについては、ベンチ脇で行うこと。この時、ボールの使用は厳禁とする。
 - ④ 天然芝会場の場合は、各会場によって芝の保護の必要性から試合中のベンチ脇でのアップにおいては、ステップを含むアップは禁止としランニング等の芝を痛めないアップを行うこと。また、会場によっては、トレーニングシューズの利用をお願いします。各会場担当者に確認の上お願いいたします
4. 代表者会議
 - (1) 原則として、各会場第1試合開始60分前に当該出場チームの代表各1名によるミーティングを行う。2日間に渡り開催される場合は2日目の代表者会議の開催は、会場担当者の判断に委ねる。
 - (2) 代表者会議では、試合日程及び審判割りの確認、各会場の利用方法と最後にユニフォームチェックを行い、スムーズな競技運営に各チームで協力をお願い致します。
5. 選手交代
 - (1) 当日ベンチ入りした14名までとし、再出場は認めない。
 - (2) 交代用紙は使用しない。
 - (3) 各試合のメンバー表提出後、試合開始前までの時間に怪我などの特別な理由により、その試合に登録された選手が出場出来ないと当該会場本部役員が判断した場合に限り、下記の通りメンバーの変更を
 - ① 先発選手の場合、控え選手を先発選手に変更し、新たに控え選手を登録済みの選手の中から補充することが出来る。ただし、出場出来ない当該選手がベンチに留まりたい場合は、当該試合に出場しないことを条件にベンチにとどめることが出来るが、この場合は控え選手の補充は出来ない。
 - ② 控え選手の場合は、登録済み選手の中から控え選手として新たに補充することが出来る。この場合も怪我等で出場出来ない当該選手がベンチに留まりたい場合は、当該試合に出場しないことを条件にベンチにとどめることが出来るが、この場合は控え選手の補充は出来ない。
 - ③ 選手の補充を行った場合、怪我等で出場出来ない当該選手はベンチ内へ入ることは出来ない。
 - ④ この選手の補充については、選手の交代にはあたらない。
 - ⑤ この措置は、本大会のみの適応とする。
6. 警告・退場
 - (1) 大会期間中、警告の累積が2枚になった選手は次の1試合に出場出来ない。また、退場を命じられた選手等は次の1試合に出場出来ない。
 - (2) 警告の累積は、予選リーグ終了後にクリアする。
 - (3) 退場・退席処分を受けた選手等(警告累積による出場停止は除く)のその後の措置は大会実施委員会を通じ新潟県サッカー協会規律委員会の承認を受けた処分を文章にて通知する。なお、この大会期間中に消化出来ない場合に限り直近の公式戦での消化となる。この場合、必ず選手及びチーム監督からの申告による直近の公式戦での消化を行うこと。故意の有る無しに関わらずこれを怠った場合は重い処分
 - (4) 退場・退席を命じられた選手等は、会場役員の指示に従い所定の場所へ移動すること。
 - (5) 退場処分等を出した当該の審判員は「審判報告書」並びに「審判報告書(重要事項)」を当該ピッチの本部に提出すること。なお、その書面をもって、当該選手等の事情聴取を行います。
 - (6) 退場及び退席を受けた選手等は、大会本部が必要と判断した場合に各会場の指定の場所で事情聴取を行います。試合終了後、会場大会本部にて待機して下さい。審判報告書の提出を待って事情聴取を開始します。
 - (7) 本大会において、出場停止処分を消化出来ない場合は、直近の公式戦で消化することになるので、十分注意をする。
 - (8) 本大会終了時、出場停止処分が残存する場合、上位大会に進出出来ないチームの選手等は必ず、直近の公式戦においてこれを消化して下さい。その場合、チーム監督及び当該選手から大会主催者に申告して下さい。
 - (9) 「累積警告」による出場停止処分は、本大会において消化するものとし、本大会の終了を持って出場停止処分は消滅する。
 - (10) その他詳細は、(公財)日本サッカー協会「懲罰規定」に則る。

7. 審判 (1) 審判員は、チーム帯同審判員とし必ず写真貼り付けの審判証を携帯し、大会役員の求めに応じ提示ができること。
(2) 審判員は、審判着、審判員ワッペンを着用を必須とする。
(3) 審判員は高校生以上とする。
8. メンバー表 (1) エントリー後のメンバー変更(入力ミスによる訂正も含む)は、本大会出場初日の代表者会議時に変更したエントリー表を1部提出のこと。このとき、背番号のみの変更は認めない。
(2) メンバー表は、各会場共に当該試合開始30分前までに各ピッチの本部へ先発選手、交代要員、ユニフォーム、ベンチ入り役員に印を付け提出すること。決勝トーナメントは3部提出すること。予選リーグ、2・3・4位グループリーグは2部提出することとする。
(3) 選手証については、競技役員のために応じ提示できるようにしておくこと。
(4) メンバー表に不備があった場合は、大会実施委員によって協議し裁定を行う。
9. 選手チェック (1) 試合開始5分前に選手チェック、用具チェックを指定された場所で行う。
(2) 選手の装身具は全て禁止とする。ただし、女子選手のヘアバンドのみ主審が認めた場合のみそれを認める
(3) その他の装具については、主審の判断とする。
10. ユニフォーム (1) ユニフォームは、(公財)日本サッカー協会のユニフォーム規定を遵守すること。
※日本サッカー協会ユニフォーム規定第10条において適用除外を受けた日本プロサッカーリーグ(Jリーグ)に所属するクラブの下部組織のチームは、当該クラブのトップチームと同一のユニフォーム広告を掲示することが認められる。但し、アルコール等、未成年チームにふさわしくない広告については除外
(2) ユニフォームの下に着用するアンダーウェアについては、ユニフォームの袖の主たる色と同色とする。また、スパッツに付いても、パンツの主たる色と同色とする。アングルパットについては、ストッキングの下に着用すること。ソックスの上にまくテープは、ソックスと同色のみそれを認める。タイツについては、基本パンツの主たる色と同色とする。
(3) 正・副の色の異なるユニフォーム(GKも含む)を用意すること。通常審判員が着用する審判着(黒色等)に類似しているユニフォームは認めない。
(4) ユニフォームの前面及び背面には大会エントリー時に登録された選手固有の番号を付けること(GKも含む)
(5) 登録表に入力された選手番号のユニフォームが試合開始時にない場合は違う番号での試合出場は認めない。この場合、ユニフォームが準備出来るまでその選手を欠いて試合を進めるか、交代枠を使い当日提出済みのメンバー表に従って控え選手を出場させるかの選択となる。
(6) 背番号の張り番については、前面及び背面とも四辺をしっかりと縫い付け試合中に取れることのないようにすること。また、台座の生地は、出来るだけユニフォームの主たる色と同色にし、かつ、番号がはっきりと読み取れるものであること。
(7) ユニフォーム及び選手番号は大会登録後の変更は認めない。
(8) エントリー後のユニフォームの色の変更は認めない。
11. ベンチ (1) ベンチへの入場は、メンバー表に印を付けた選手最大25名(交代要員を含む)と役員5名以内とする。
(2) リーグ戦においては、リーグ表上段のチームが左側ベンチ、対戦相手が右側ベンチを使用すること。また、トーナメント戦においては、トーナメント表左及び上段のチームが左側ベンチ、対戦相手が右側ベンチを使用すること。
(3) 試合中に役員は、ベンチから離れることはできない。
12. ベンチ内での態度 (1) 試合中その都度ただ一人の役員のみがテクニカルエリアに出て競技者に戦術的指示を伝えることが出
(2) ベンチ内での発言において、審判員・選手・競技役員等に対し誹謗中傷及び暴言・差別発言等は厳に慎むこと。これを行ったチーム役員・選手等に対しては厳重な処分を下します。
(3) 控えの選手及びチーム役員は、ピッチ内で試合をしている選手及び審判員と明らかに異なる色のビブス等を着用していること。
(4) ベンチ内でのビデオ撮影・写真撮影を認めない。また、撮影をするために当日登録された選手等がベンチ内から離れてそれを行うことは出来ません。
(5) ベンチを含む競技場内におけるチーム役員同士の無線通信は認められる。ただし、監督を含む役員や選手が出場停止または退場、退席処分を受けた場合においては、それは出来ない。また、試合の画像をベンチ内で見ることの出来る通信機器及び端末(PCも含む)の使用は認められない。
13. 試合球 試合球は、大会実施委員会にて準備する。
14. 飲水 (1) 試合中の飲水タイムは、各会場で競技役員、審判団等により必要と判断された場合にこれをもうける。その場合、予めラインの外に置かれているボトルで飲水を行うか、それぞれのチームのベンチ前でベンチのチーム関係者から容器を受け取ってライン上で飲水し、速やかに競技の再会を行うよう努めること。なお、競技中の飲水についてもライン上で飲水を行うこと。
(2) 飲水タイムは、あくまでも飲水のためであり、休憩や戦術指示のための時間ではないことを理解して下さい。ただし、極端に温度の高い場合においては、選手の安全を第一に考え選手の身体を冷やすことや飲水タイムの回数を増やすこと等を想定し対応して下さい。
(3) スポーツドリンク等、水以外の飲料水については、各会場の規定に従うこと(飲料については、代表者会議時に確認のこと)。
(4) 飲水を行う条件として、「サッカーの暑さ対策ガイドブック」の「夏季大会開催における指針」に従い3種年代の目安として「WBGT 28℃」とする。この環境温度の測定値が得られない場合は、基本主審の判断となるが、安全を重視して試合に関わる方々で判断することを願います
(5) 飲料水はタッチラインから1m以上離れた場所に置くこと。また、飲料水の配置は試合開始ホイッスルの前に完了すること

15. 会場設営 (1) 各会場の設営は、第1試合の2チームで行う。
(2) 各会場の撤収は、最終試合の2チームで行う。
16. その他 (1) 会場運営については、大会実施委員会に一任する。
(2) 参加資格等の違反、不都合な行為等があった場合の措置については大会実施委員会で裁定する。
(3) 大会期間中において、不慮の事故等が生じた場合は、各チームにおいて対応すること。
(4) 応援については、各会場の指示に従うこと。鳴り物を禁止する会場もあります。
(5) 予選リーグ(ナイター開催)については、鳴り物及び応援歌での応援を禁止とする。
(6) 本大会において、要項・規定以外の予期せぬ事象に対しては、大会実行委員で最終判断をしますが、早急な判断が必要な場合は、参加各チームの良識ある対応をお願いします。その場合、必ず実施委員会に顛末の報告をお願いします。
(7) 天候等の事情により試合が日程通り消化出来ない状況が発生した場合は、大会実施委員会に一任する
(8) 反スポーツ的(特に暴言・暴力・差別発言等)と判断される行為は相手チームのみならず自チーム間であっても厳に慎み、サッカーの品位を高めるよう努力を図ること。
(9) 試合中の選手や観客を含め会場による緊急事態(救急搬送等)の対応は本部役員で行うが、それ以降の処置は各チームで責任を持って対応を行って下さい。
(11) 試合終了後の挨拶は、両チームの選手による握手をもって終了とする。時間の都合上、相手チームベンチへの挨拶及び本部、応援席への挨拶は無しとします。
(10) 本要項及び注意事項に記載の無い事項については(公財)日本サッカー協会発行「サッカー競技規則2018/2019」による。